

令和8年度「一般選抜（前期日程）」

出題の意図

「英語」

- ・ 各学部・学科の試験科目については、入学試験要項等を参照してください。
- ・ 出題の意図に関する質問や問合せには一切回答いたしません。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 3 日
教科・科目名	英語

I	大学入学後には授業などで英語で書かれた文献を読み、その内容を理解することが求められます。そこで、大問 I は、英語文献の一節を正確に和訳して理解する能力が備わっているかを確認することを目的としています。また、英語構文を正確に把握できているかも確認しています。
II	前後の文脈から読み取れる情報を基に、空欄箇所に適切な文章を選択できる能力を問う問題です。それぞれの単語の意味だけでなく、文章全体を俯瞰して見通せる能力が必要となります。
III	英文法の基礎的な理解に加えて、類似した意味の単語や熟語を空欄の前後から理解して適切に選択できるか、また、それらの単語や熟語がどのような場面で使用されるかなど、英語の応用的な理解も本設問により確認しています。
IV	大学では日本人だけでなく、外国からの留学生や教員など、グローバルな環境下で教育研究を行う場面があります。そのような場面で英語を正確に発音できる能力が備わっているかを本設問により確認しています。
V	比較的短い日本語文章を適切な英語に置き換えることができる能力を問う問題です。単なる単語の空欄補充ではなく、複数の空欄補充により文章全体の構成や構文を把握できる力を求めています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 4 日
教科・科目名	英語

I	大学入学後には授業などで英語で書かれた文献を読み、その内容を理解することが求められます。そこで、大問 I は、英語文献の一節を正確に和訳して理解する能力が備わっているかを確認することを目的としています。また、英語構文を正確に把握できているかも確認しています。
II	読解力を総合的に測ることを目的としています。具体的には、文章全体の意味や流れを正確に把握できているか、文法や語法にも注意しながら慎重に読むことができるか、必要な情報を素早く見つけ出すことができるか、などを確認しています。
III	英文法の基礎的な理解に加えて、類似した意味の単語や熟語を空欄の前後から理解して適切に選択できるか、また、それらの単語や熟語がどのような場面で使用されるかなど、英語の応用的な理解も本設問により確認しています。
IV	大学では日本人だけでなく、外国からの留学生や教員など、グローバルな環境下で教育研究を行う場面があります。そのような場面で英語を正確に発音できる能力が備わっているかを本設問により確認しています。
V	比較的短い日本語文章を適切な英語に置き換えることができる能力を問う問題です。単なる単語の空欄補充ではなく、複数の空欄補充により文章全体の構成や構文を把握できる力を求めています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 5 日
教科・科目名	英語

I	大学入学後には授業などで英語で書かれた文献を読み、その内容を理解することが求められます。そこで、大問 I は、英語文献の一節を正確に和訳して理解する能力が備わっているかを確認することを目的としています。また、英語構文を正確に把握できているかも確認しています。
II	読解力を総合的に測ることを目的としています。具体的には、文章全体の意味や流れを正確に把握できているか、文法や語法にも注意しながら慎重に読むことができるか、必要な情報を素早く見つけ出すことができるか、などを確認しています。
III	英文法の基礎的な理解に加えて、類似した意味の単語や熟語を空欄の前後から理解して適切に選択できるか、また、それらの単語や熟語がどのような場面で使用されるかなど、英語の応用的な理解も本設問により確認しています。
IV	大学では日本人だけでなく、外国からの留学生や教員など、グローバルな環境下で教育研究を行う場面があります。そのような場面で英語を正確に発音できる能力が備わっているかを本設問により確認しています。
V	比較的短い日本語文章を適切な英語に置き換えることができる能力を問う問題です。単なる単語の空欄補充ではなく、複数の空欄補充により文章全体の構成や構文を把握できる力を求めています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 6 日
教科・科目名	英語

I	大学入学後には授業などで英語で書かれた文献を読み、その内容を理解することが求められます。そこで、大問 I は、英語文献の一節を正確に和訳して理解する能力が備わっているかを確認することを目的としています。また、英語構文を正確に把握できているかも確認しています。
II	前後の文脈から読み取れる情報を基に、空欄箇所に適切な文章を選択できる能力を問う問題です。それぞれの単語の意味だけでなく、文章全体を俯瞰して見通せる能力が必要となります。
III	英文法の基礎的な理解に加えて、類似した意味の単語や熟語を空欄の前後から理解して適切に選択できるか、また、それらの単語や熟語がどのような場面で使用されるかなど、英語の応用的な理解も本設問により確認しています。
IV	大学では日本人だけでなく、外国からの留学生や教員など、グローバルな環境下で教育研究を行う場面があります。そのような場面で英語を正確に発音できる能力が備わっているかを本設問により確認しています。
V	比較的短い日本語文章を適切な英語に置き換えることができる能力を問う問題です。単なる単語の空欄補充ではなく、複数の空欄補充により文章全体の構成や構文を把握できる力を求めています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 11 日
教科・科目名	英語

I	大学入学後には授業などで英語で書かれた文献を読み、その内容を理解することが求められます。そこで、大問 I は、英語文献の一節を正確に和訳して理解する能力が備わっているかを確認することを目的としています。また、英語構文を正確に把握できているかも確認しています。
II	前後の文脈から読み取れる情報を基に、空欄箇所に適切な文章を選択できる能力を問う問題です。それぞれの単語の意味だけでなく、文章全体を俯瞰して見通せる能力が必要となります。
III	英文法の基礎的な理解に加えて、類似した意味の単語や熟語を空欄の前後から理解して適切に選択できるか、また、それらの単語や熟語がどのような場面で使用されるかなど、英語の応用的な理解も本設問により確認しています。
IV	大学では日本人だけでなく、外国からの留学生や教員など、グローバルな環境下で教育研究を行う場面があります。そのような場面で英語を正確に発音できる能力が備わっているかを本設問により確認しています。
V	比較的短い日本語文章を適切な英語に置き換えることができる能力を問う問題です。単なる単語の空欄補充ではなく、複数の空欄補充により文章全体の構成や構文を把握できる力を求めています。